

世界史 B

共通テスト初年度について

傾向

- 大問数は5題で、小問数は34問でした。センター試験と比べて大問数は1題増加しましたが、小問数は2問減少しました。なお、大問数・小問数ともに2018年度試行調査と同数でした。
- 2017年度・2018年度試行調査と同様に文献やグラフが多用されました。しかし、試行調査と比べて写真や地図といった図版を用いた問題が減少し、文献を用いた問題が大幅に増加しました。また、空欄に入れる単語と関連する文の組合せを問う出題が増加し、単純な4文正誤問題は減少しました。
- 会話文や資料が多用されたため、センター試験と比べて問題分量は増加しました。また、ほとんどの問題で、知識だけでなく資料や文章の読解が必要とされており、難易度はやや難化したといえます。

出題内容

大問	出題内容	難易度		
		やや易	標準	やや難
1	資料と世界史上の出来事との関係	●		
2	世界史上の貨幣		●	
3	文学者やジャーナリストの作品		●	
4	国家や官僚が残した文書		●	
5	旅と歴史			●

パワーマックスについて

編集方針

- 2021年度共通テスト本試験や試行調査を踏まえた形式・難易度のZ会オリジナル模試を5回分収録しています。
- 共通テスト本試験に即して、知識を確認する問題から**史・資料の読み取り**を求める問題、**論理的思考**を要する問題まで、様々な観点から知識力・理解力・思考力をはかる問題を各回に盛り込んでいます。

書籍の特長

- 大学入学共通テスト問題作成方針に示されている、「『どのように学ぶか』を踏まえた**問題の場面設定**」、「**歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察する過程**」を重視した問題設定となっています。
- 史料文・統計資料・地図・図版など**多様な資料の読み取りを必要とする問題**を多数出題。また、受験生にとって**初見となる資料**を用いた問題を全ての回に収録しており、資料から得られる情報と歴史知識を結びつけ、考察する力を養うことができます。

パワーマックス 世界史B 出題一覧

	大問	出題内容	解答 目安 時間	難易度		
				やや 易	標準	やや 難
第1回	1	世界史上の人の移動や文化交流	15分			●
	2	世界史上の危機	10分	●		
	3	世界史上の紙幣	10分		●	
	4	世界史上の民衆反乱や民衆による運動	10分		●	
	5	世界史上の戦争	15分		●	

第3回	1	世界史上の支配階級や特権階級	12分		●	
	2	工業化による社会の変化	10分		●	
	3	19～20世紀における同盟関係や条約	14分		●	
	4	世界史上の科学の発達	10分	●		
	5	イブン=バットゥータ／近・現代の中国	14分			●

第5回	1	東アジア世界の文化交流・交易	14分		●	
	2	世界史上の軍制・兵制	12分	●		
	3	世界史上の文字・言語	12分		●	
	4	中世ヨーロッパ／第二次世界大戦後に行われた演説	12分			●
	5	近代国民国家形成の過程における関税政策	10分		●	

	大問	出題内容	解答 目安 時間	難易度		
				やや 易	標準	やや 難
第2回	1	世界遺産の建造物	14分		●	
	2	世界史に関わる経済・統計の資料	12分			●
	3	世界史上の裁判	10分		●	
	4	世界史と食のつながり	10分		●	
	5	日本から海外へ渡った使節	14分	●		

第4回	1	世界史上の有名な皇帝や国王	12分		●	
	2	宗教と社会の関わり	14分		●	
	3	“新大陸”	12分			●
	4	列強のアジア進出	10分		●	
	5	近代国家の形成	12分		●	